



3月18日 西伊豆中学校 卒業式

施政方針・大綱質疑

2~4

第1回臨時議会

10

一般質問

12~19

議会の動き

20~21

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。



あなたの声が届く町政へ

令和4年度
西伊豆町長
施政方針(抜粋)

町政運営

町政運営の基本的な考え方としては「あなたの声が届く町政へ」「誰もが住み続けられる町づくり」の考えのもと、町民の声を大切にし、持続可能な地域づくり・地域環境共生圏の視点を取り入れ、行政運営を行ってまいりたいと存じます。

防災・災害対策

現在津波避難タワーは2基が完成し、4年度において沢田地区・下月原地区にそれぞれ1基を建設します。正円地区・本庁付近についても設計業務を行い、今後建設に向けて進めていきたいと思えます。災害時には、情報の伝達も重要な課題です。電波調査をしたうえで、FM伊豆での情報伝達も取り入れる必要があるのではと思えます。

学校建設

先ず安全な場所で教育・保育を行うという事を大事に、建設計画を進めていきたいと思えます。現況としては、3年度中に先川地内のボーリング調査費が可決されましたの

で、2月中に入札も終わり、現在調査結果を待っている状況です。ボーリング調査が終わり次第、地質の分析結果をお示しし、方向性を決定していきたいと思えます。

4年度内に基本設計業務に取り掛かり、早急に住民説明ができる資料を作れるように体制を整えていきたいと思えます。

学校給食費半額助成

少子化対策・食育・地場産品の地産地消の面から、学校給食費の半額補助をしたいと思えます。

斎場建設

田子地区におきまして地元説明会を行わせていただきました。現在の施設の老朽化も激しく、事業を進めなければならぬ状況に変わりはありませぬ。地区のご理解を頂けるよう再度お願いに伺うと共に、計画については進められるよう計画策定の予算を計上いたしました。

経費削減

近年の電力自由化により、近隣市町でも電力の入札制度を採用入れる自治体が増えてきました。西伊豆町としては、安定した電力供給が確実に行われるか、業務に支障はないのかなど注視してきました

が、他市町で支障が出たなどの状況が無いことから、当町においても4年度から電力の入札制度を採用入れ、経費の削減に努めていきたいと思えます。

6次産業化

1次・2次・3次産業とそれぞれありますが、全てに横ぐしを刺し、連携の取れた事業展開をすることが重要です。

山を適切に管理することによってCO₂の吸収と循環を促し、^{さんき}残渣などの有効利用と海産物の養殖などを手掛け、自然を生かした6次産業化を進めていきたいと思えます。最終的にはそれらを観たり体験する観光につなげていきたいと思えます。

ごみの減量化

生ごみなどの食物残渣や2次・3次産業から出てくる残渣をバクテリア処理し、焼却処分量の減少と有効活用ができないかと考えております。最終的には、家庭から出る生ごみまでの処理が望ましいと思えますが、個人の意識の問題もあるため、先ずはホテル・旅館や、加工業などに的を絞り検討をしたいと思えます。

農業

町内で農業をしたいという

地域おこし協力隊が1名活動をしてきていますが、コロナ禍において商品を流通させることができず大変苦慮しています。また、農地はありますが耕作されていない土地も多くあるため、第三者に貸し出すなど有効利用が図られるよう努めていきたいと考えております。

林業

引き続き森林の荒廃や災害の温床を改善する面を考え、今定例会において基金に1億円の積み増しをしたいと考えております。川上から川下までの政策を行い、仮にC級材であったとしても有効活用されるように検討を進めていきたいと考えております。4年度の町有林間伐面積は18haを行い、そのほか、民間の間伐事業にも補助を行っています。

漁業

育てる漁業の本格始動を行いたいと考えております。3年度から6次産業化の事業で調査などを進めてきました。その結果として陸上養殖1種・海中養殖2種を選別したところです。今後商品化できるように努力すると共に地域とのかかわりが深まることを期待しております。

商工

消費喚起としてグルメスクラッチの第3弾と、サンセツ

トコイン還元事業を行いたいと考えております。グルメスクラッチ事業に関しては商工会の事業として行い、その補助分を町が出資します。サンセツコイン事業に関しては、町内事業所の生き残りをかけ、4年度中は通年で1%の還元をし、状況を見て10%の還元で消費喚起を行っていききたいと思います。

観光

コロナの影響で先が見通せない苦しい状況に変わりはありません。OTAクーポンの発行を行い個人旅行集客の呼び水として事業を行うと共に、しっかりとしたPRを行って認知度の向上を図っていききたいと思います。

現在、町では『ロケサポ西伊豆』を展開し、多くのメディアに取り上げて頂く努力をしてきました。それらを観てお越しになるお客様が1人でも多くなるよう、今後も観光事業者とより連携を密にし、誘客に努めていききたいと思います。

移住政策

旧賀茂幼稚園の園舎はサテライトオフィスの拠点という面と、住民が利用できる空間を確保しているため、手狭になりつつあるので、黄金崎を一体とした整備計画を立てると共に、敷地内にワーケーションで使える施設の構築も図っていききたいと思います。このワーケーション事業は、県の『ふじのくにフロンティア推進エリア形成事業』を活用し、事業展開を図っていききたいと思います。

健康増進事業

健康事業の『健幸づくり事業』につきましては、3年度までの取り組みが、厚生労働省の健康アワード（介護予防・高齢者生活支援部門）におきまして、厚生労働大臣最優秀賞を受賞し過大な評価をいただく事ができました。今後も住民の皆様と共に健康寿命の延伸につながる事業を継続し、健幸で長生きできる町づくりを行いたいと思っております。



施政方針を述べる町長

大 綱 質 疑

一般会計

質問 ふるさと納税は現在好調だが、いつ減収になるかわからない、なくなった場合を考えているのか。

町長 なくなったときに取り返しのつかない状況になっては困るので、財政部門でシミュレーションをして、財政運営を行っています。

教育

質問 コロナ禍でなかなか、思ったように英語の授業もできないが、タブレット等は全ての児童に行き渡っている。インターネットを利用した教育はできないのか。

町長 GIGAスクール構想の中で進めていくわけですが、本年度はJUSAさんと協定を結んでICT教育の充実を図っていきます。

観光振興

質問 誘客施策はどのようなものを考えているのか。

町長 ロケサポなどのメディア戦略を行っていくことによって、西伊豆町という観光地があるということを全国に知ってもらいます。そして、OTAクーポンの発行などで、しかも安い、ということで一人でも多くの方が西伊豆に行こうと思ってもらえる取り組みが必要だと考えています。

斎場建設

質問 斎場建設関連の予算が計上されているが、まだ地区の同意が得られていないのになぜ予算計上したのか。

町長 しっかりと斎場建設は解決していきたいと予算計上しました。ただし地区の同意がなければ予算執行はしません。

ワーケーション

質問 ワーケーション（※仕事と休暇の相反する2つの事を同時にしてしまうということ）は閉鎖する学校施設を利用できないか。

町長 学校施設はどの校舎がなくなるか確定していないので、計画が立てられませんが、黄金崎に関しては、土地の有効利用を考えて県などの補助をいただきながら、計画を作っていきたいと考えています。

漁業振興

質問 陸上養殖については、既に管理者の方は成功させるという意気込みで取り組んでいるとのことだが、どのような支援がなされているのか。

町長 費用的なものは、森と海の6次産業化事業の中で、国県の補助金で十分支援はできていると考えます。人間関係の支援については、色々な関係者の方に、町がつなぎ役をしていきます。

姉妹町交流

質問 子供たちにとっては姉妹町交流はすごく楽しいことであるが、お互いを理解するようなプログラムはできているのか。

町長 体系的なプログラムとして明確化されていないので、必要ならば構築していきます。



施政方針への質問をする議員

新年度予算40.5%増（一般会計）

収入（歳入）

給料 (町税等)	7億9446万3千円
実家からの仕送り (地方交付税等)	26億2555万0千円
兄弟からの援助 (国・県補助金)	11億3077万4千円
副収入 (ふるさと納税等)	10億0000万5千円
貯金取り崩し (繰入金)	13億6694万7千円
バイト代 (その他の収入)	6億6916万1千円
借金 (町債)	2億4010万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて作表しました。

収入合計 78億2700万円

支出（歳出）

生活費 (総務費)	9億6936万3千円
年金・保険料等 (民生費)	9億6306万1千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	5億9656万2千円
農薬代・養魚飼育餌代 (農林水産業費)	2億6155万7千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	14億3256万1千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	5億2153万8千円
消火器購入 (消防費)	7億1548万1千円
学費仕送り (教育費)	6億6182万1千円
ローン返済 (公債費)	5億6326万4千円
区・町内会費 (議会費)	6723万6千円
貯金 (諸支出金)	10億6955万6千円
へそくり (予備費)	500万0千円

支出合計 78億2700万円

（特別会計）

会計名	歳入歳出総額	前年度対比	増減(%)
国民健康保険特別会計	13億3300万0千円	1億300万0千円	8.4
後期高齢者医療特別会計	3億280万0千円	△140万0千円	△0.5
介護保険事業特別会計	12億9800万0千円	△8900万0千円	△6.4
水道事業会計	2億3787万8千円	△4019万9千円	△14.5
温泉事業会計	1億783万7千円	295万0千円	2.8

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

サンセット コイン 10%還元

開催期間	3月1日から3月11日まで	
審議した案件	町長提出議案19件	議員発議1件
可決した主な議案	令和4年度一般会計予算 ほか5つの特別会計予算 一般会計補正予算(10号) ほか3つの特別会計補正予算 債権の放棄について ほか5つの条例改正 1つの規約変更	

こんなことが、決まりました。

一般会計予算 (賛成：5 反対：4)

4年度の予算総額は78億2700万で前年度比22億5700万円の増です。増額要因は、ふるさと納税関連約4億4000万円、道路・橋梁等整備約2億2000万円、津波避難タワー等整備約3億2000万円、サンセットコイン事業約3億3000万円、などの増と前年は町長選挙があり大型事業を控えた結果、大幅な増額になりました。
※文教施設整備費(建設候補地先川)1億6550万円を削除する修正案を否決しました。

サンセットコイン事業 4億6958万5千円

問 経済的余裕のある人ほど有利になることへの考えは。
答 利用を一率制限すると消

費喚起になりにくいので使える方は積極的に使い町内消費を喚起して欲しいです。

家屋等解体事業補助金 210万円

問 空き家解体補助を1件30万円とした理由は。
答 解体費は家屋の大きさにより異なりますが、平均して大体300万円程なので商工会と検討して1割の30万円としました。

鷹ノ巣残土処理場 契約変更 に伴う補償金 4000万円

問 鷹ノ巣残土処理場の閉鎖に伴う補償金4000万円は適正なのか。
答 町の都合で閉鎖させていたただきたいと持ちかけていますので、ある程度の補償は仕方ないと考えています。

文教施設整備費を削除する 修正案に対する討論

反対討論 文教施設等整備委員会は建設地を決定する性格、役割を有していないので委員会が提案した候補地に反しているとする修正理由には当たらないので反対。

反対討論 この委託料否決は建設費の最終判断材料が得られなくなる。建設が2、3年遅れるという状況であり、これ以上遅れさせないためにも修正案に反対。

賛成討論 大きな投資は町民に説明し理解を得る、次世代に借金負債を残さない、建設費を節約し町民に負担をかけない。以上の理由で修正案に賛成。

賛成討論 こども園園庭を津波基準水位以上とする確約

2回実施

- ◎4年度にサンセットコイン10%還元を2回に分けて実施します。(※通常時は1%還元を実施)
- ◎10%還元金が1千万円に到達で終了を2回実施。(予算総額はチャージ料+還元金で計2億2千万円)
- ◎実施時期は町内の活性化が目的なので町内景気を見ながらの実施となります。

がない。校舎・体育館の洪水への危機意識が希薄、先川は建設費の増加が予想され、また執行済み予算を無駄としないためにも修正案に賛成。

国民健康保険特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は13億3300万円で前年度比1億300万円の増額です。昨年度保険給付費等の実績見込みにより増額します。3年度末基金残高見込みは約3億8080万円です。

国民健康保険事業基金 約3億8080万円

問 保険料を県下で統一するときには基金を使うのか。

答 統一の目途が立たず、細部について何も決まっていますので基金使用については分からない状態です。

後期高齢者医療特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は3億280万円で前年度比140万円の減です。

問 対象者の国保から後期高齢者保険への切り替えはスムーズに行われているか。

答 役場窓口で各口座登録の際に後期高齢者の口座登録の案内をし、また納付書を送る際にも口座振替が便利とのお知らせをしています。

介護保険事業特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は12億9800万円で、前年度比8900万円の減額です。要因は介護サービス諸費を介護認定者の減少、介護度の軽度化により減額します。3年度末基金残高見込みは約2億3100万円です。

介護認定審査会費 765万4千円

問 介護認定の審査は迅速に行われているか。

答 ほとんどの方が、30日以内に審査結果が、返ってきていると思います。ただ、医師からの主治医意見書の提出が遅れるなど、調査に行けないことにより遅れることもあります。

水道事業会計予算 (全員賛成)

収益的収支(経営に伴う、収支)は収入が2億80万、支出が1億9560万1千円です。

資本的収支(施設整備に伴う収支)は収入2千円、支出3707万7千円で不足額は内部留保資金、消費税等で補填します。

問 水道台帳上では無くなった石綿管が漏水修理で発見されたが、他には無いのか。

答 今回の件もあり、正確性に欠けている部分もあるかもしれません。これからも石綿管を発見しましたら早急に対応します。

温泉事業会計予算 (全員賛成)

収益的収支は収入が9102万6千円、支出8726万円です。資本的収支は収入2千円、支出1681万1千円で不足額は内分留保資金、消費税等で補填します。

問 動力費が大変上がっている。下げる努力はしているのか。

答 ボイラーは設定した温度で稼働しており、源泉の温度が上がらない限り、動力費を下げるのは困難です。また燃料単価はこれからも、なかなか下がらないので簡単ではないと思います。

消防団員の年額報酬を増額

債権の放棄

(賛成7・反対2)

普通財産賃貸借契約に基づく賃借料について、相手方に支払能力が無く、今後の徴収が見込めないため、権利を放棄しようとするもの。放棄する金額は、平成23年度分から平成27年度分までの5年間分で、合計446万5千円ものです。

問 請求が2年に1回になっているが、どうして、毎年請求しなかったのか。

答 連絡はしていましたが、どうして2年に1回になったのか分かりません。

反対討論 悪しき前例を作らないことと、職員の皆さんに、真摯に賃借料の取り立てに取り組んでいただきたい。

賛成討論 時効消滅を元に戻すことは、法律的に無理なので賛成。

反対討論 町の対応に不備があったと考えます。また、446万5千円がなくなってしまうことに対し真摯に反省していただきたい。

賛成討論 町長以下、この内容を十分理解して、統一して議員の質疑にこたえるべき。それと十分に反省していただきたい。ただ、法律にのっとりやってという

ことからすれば賛成。

町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定

(全員賛成)

町長などの、町に対する損害を賠償する責任の一部を、免れさせることまぬがに関し、必要な事項を定めるものです。

問 主に、住民訴訟における損害賠償について適用されるとあるが、具体的にはどのような事例があるか。

答 住民訴訟法4号に相当します。具体的には、財務会計上の行為で、公金の支出、給与の支給、財産の取得、管理処分、土地の取得、契約の締結、履行、工事請負、請負契約の履行、公金の賦課徴収を怠る事実、などがあります。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(賛成8・反対1)

期末手当基礎額に乗じる係数を、100分の7.5減額したものです。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和4年4月1日から未就学児の均等割り保険税の軽減措置が講じられることとなりました。軽減措置の内容は、世帯内の6歳に達する日以後の最初の3月31日以前である被保険者（未就学児）の基礎課税分及び後期高齢者支援金分の均等割り保険税を、5割軽減するものです。

影響について

令和4年1月現在、軽減に該当する世帯及び未就学児被保険者は14世帯17人おり、均等割り軽減額としては、136,350円になり、全体の調定額に対して0.08%の割合になります。

消防団条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

消防団の処遇の改善をするため国が非常勤消防団の報酬等の基準を定め、いわゆる消防庁長官通知に基づく報酬等を一部改正するものであり、それに応じて町の条例を改正したいもの。副本部長、副分団長、班長、団員の年額報酬を改定するものです。また、災害（水火災・地震）に関する出勤については、1日当り

8000円を標準額とすることとされました。

消防団員の年額報酬の改正

単位：円

職名	報酬 (旧⇒新)
副本部長	43,000⇒45,500
副分団長	43,000⇒45,500
班 長	27,000⇒37,000
団 員	20,000⇒36,500

災害時の出勤報酬の改正

職名	報酬 (旧⇒新)
基本団員	<ul style="list-style-type: none"> ●4時間以下の出勤 2,500 ⇒ 4,000 ●4時間を超える出勤 5,000 ⇒ 8,000
機能別団員	<ul style="list-style-type: none"> ●4時間以下の出勤 2,500 ⇒ 4,000 ●4時間を超える出勤 5,000 ⇒ 8,000

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(全員賛成)

会計年度任用職員は勤勉手当も無いため、令和4年6月支給分の期末手当は、減額調整を適用しないというものです。

一般会計補正予算
(第10号) (全員賛成)

歳入歳出総額にそれぞれ3億1453万4千円を追加し、それぞれの金額を、90億300万円にしたいものです。

問 南伊豆西伊豆地域公共交通活性化協議会負担金の減

額はどうしてか。

答 新型コロナウイルスで人流が抑制されているので、乗降調査ができなかったため、経費を削減するものです。

問 公有財産取得ということでクリスタルパークの土地の所有者に意向調査をしている中で、全員の方が売買について賛同しているのか。

答 17名中16名の方からは、譲って頂ける回答を得ております。最後の方はほぼ毎日電話をしていますが、まだ連絡が取れていません。

問 合併処理浄化槽設置整備事業補助金が358万4千円減額されているがどうしてか。

答 住民の方の合併処理浄化槽設置に対する助成金です。減額の理由ですが、当初16基を見込んでいましたが、実績は9基でしたのでその差額を減額しました。

問 固定資産税を徴収猶予した2500万円が滞納繰越で載っているがどうしてか。

答 昨年度、新型コロナの特

例がありまして、納期限が1年間延長になるものが、全体で約4900万円あり、そのうち年度内に納期があったもの、納付があったものを除いて令和3年度に繰り越さなければなりません。その金額が全体で約2600万円ありました。当初予算には当然載っていないので、今回年度末に計上したというものです。

国民健康保険特別会計補正
予算(第3号)
(全員賛成)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ90万円を減額し、予算の総額を13億4540万円としたいものです。

問 基金積み立ては決算が済んでからでもいいのでは。

答 予算の中での不用額はしっかり見て行く必要がありますので、手持ちの増えた部分については基金積み立てをしました。



公有財産取得はうまくいくのか?

第1回臨時会
令和4年1月28日

専決処分

一般会計補正予算(第8号)
(全員賛成)

18歳以下の子供1人あたり10万円を支給する子育て世帯への臨時給付金について、歳入に国庫補助金6560万8千円、歳出に児童福祉費6560万8千円を増額するものです。児童手当受給世帯には12月27日に10万円の振り込みを行いました。

問 9月1日以降に離婚した場合、実際に子育てしているところに10万円が届かない例があるか。

答 西伊豆町ではその様な例はなく、全ての対象者に支給できています。

一般会計補正予算
(第9号) 原案
(賛成6・反対3)

住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業の1億5125万円は全額国庫補助金と文教施設整備事業3336万円は、ふるさと応援基金からの繰入金などを合計して1億8614万8千円を増額します。また、文教施設整備事業調査業務4800万円は繰越明許とするものです。

一般会計補正予算(第9号) 文教施設整備の調査に予算付く

問 先川は水源地になっている。そのことを踏まえてボーリング調査の計画をしているのか。

答 当然水源のことも考慮しています。

問 文教施設整備にふるさと応援基金繰入金を選択した理由は。

答 ふるさと納税を教育に使ってくださいという項目があり、財政調整基金を取り崩すよりこちらの方が有効利用できると考えました。

一般会計補正予算
(第9号) 修正動議
(賛成3・反対6)

【修正内容】

文教施設整備費3366万円を全額減額します。

【提案理由】

当局の提案する文教施設整備に係る調査・設計業務はこれまでの文教施設整備に関する関係各位の尽力と、執行された予算を水泡に帰すものであり認められないため、減額修正するものである。

修正案に賛成討論 先に提出された請願は、小中一貫校を旧西伊豆中学校跡地に、認定こども園を津波浸水区

域外に建設することを求めるものです。旧西伊豆中学校跡地に小中一貫校を建設することは、文教施設等整備委員会で話し合われた決定事項のほずである。また、農業振興地域の土地を購入し、新中学を建設するのは町長の施政方針から逸脱しているのではないかと。先川浄水場にも近く、水源にとっていかなるものか。費用59億円については出生してくる子供が少ないのに高すぎるので修正案に賛成。

修正案に反対討論 旧西伊豆中学校の敷地、仁科小学校の裏山はレッドゾーンに指定されるという報告を受け、思い切って先川に小中一貫校並びに認定こども園を併設したらどうかという案がでた。今回の測量は、先川案ができるかどうか可能性を探るものであるため反対。

修正案に賛成討論 町民の多くは文教施設整備計画について、まだまだ理解していないと考える。町政懇談会を開いて、当初の計画が変更になったことについて経過説明をし、もっと町民の声を聞くべきであると考え賛成。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤豊	芹澤孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤和夫	増山勇	議決結果
第1回臨時会	専決処分の承認 一般会計補正予算(第8号) [6560万8千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	承認
	一般会計補正予算(第9号)修正動議 [文教施設整備関係予算を削除するもの]	×	×	×	○	○	×	-	×	○	×	否決
	一般会計補正予算(第9号) [1億8614万8千円を増額するもの]	○	○	○	×	×	○	-	○	×	○	可決
3月定例会	債権の放棄について [町有地賃借料の支払い請求権を放棄するもの]	○	○	○	○	×	○	-	○	×	○	可決
	町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例 [住民訴訟に対する町長・職員等の損害賠償責任の一部を免責するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	職員の給与に関する条例の一部を改正 [人事院勧告により期末手当を減額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正 [未就学児の均等割保険税を軽減するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	消防団条例の一部を改正 [消防団員の報酬を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正 [人事院勧告による支給額の減額をしないもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更 [加入団体を一部削除するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第10号) [3億1453万4千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第3号) [90万円を減額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [2200万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	介護保険事業特別会計補正予算(第3号) [1億6190万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和4年度 一般会計予算 修正動議 [文教施設整備関係予算の削除]	×	×	×	○	○	×	-	×	○	×	否決
	令和4年度 一般会計予算 [当初予算]	○	○	○	×	×	○	-	○	×	×	可決
	令和4年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和4年度 後期高齢者医療特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和4年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和4年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	令和4年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
	西伊豆町ガラス文化振興基金条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決
ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	可決	

議長(山田厚司)は採決に加わりません。



たか はし けい じ
高橋敬治 議員

小学校は先行統合が必要では

(教育長) 先延びしたので検討します

質問 小中一貫校とこども園先川案で、開校・開園までの工程で最大の課題は。

町長 青地除外の手続きです。

質問 令和7年度までに事業終了しないと合併特例債が使えず町の負担増になると思うが早める方法はないか。

町長 しっかり管理しますが方法はありません。

質問 特例債は施設ごと個別に適用が可能なのか。

町長 あり得るかもしれないので国県に相談しています。

質問 開校が遅れることで、長期化する小学校複式学級の解消対策は。

町長 補助教員を採用しますが、費用増や教員確保などの課題があります。

質問 学校現場から9学年を一度に統合するのは相当無理があり、問題点洗い出しなどに1～2年先行統合が必要だとの声もあるが。

教育長 開校が先延びになったので先行統合の可能性もあり、各学校長の意見も聞いて検討いたします。

質問 仁科認定こども園の津波避難対策は。

町長 2階の階段から上に行けるように改修済みです。

質問 建物の耐浪調査は。

町長 していないので安全ではありません。

質問 浜松の保育園などで導入している津波避難シェルターを設置したらどうか。

教育委員会事務局長 シェルターを含め子供の安全をどう守るか再検討いたします。

質問 教育現場や保護者からプール建設の要望があるが。

町長 正式な要望があれば早急に検討いたします。

鷹ノ巣残土処理場閉鎖は

令和4年度完成を目指す

質問 鷹ノ巣残土処理場閉鎖に向けて具体的な計画は。

町長 令和4年度完成を目指し予算計上いたしました。

質問 契約変更に伴う補償金4千万円の算出根拠は。

町長 町の都合による変更なのでこの金額でなければ話が付かず、閉鎖できません。

質問 大城地区皆伐森林の天然更新完了検査の結果は。

町長 未完了なので指導通知を送付いたしました。



学校にプールは必要ですか？

次期はんばた市場運営の考え方は

(町長) 議員や住民などの意見を参考に検討



あさかもと き 議員
浅賀元希

質問 現在のはんばた市場の指定管理者は令和4年度までとなっているが、その後の運営はどうしていくのか。

町長 令和4年度に評価委員会を開催し、そこでの評価や議員、住民の意見のほか、現指定管理者の意見も参考にしながら検討していく予定です。

質問 令和3年度にコロナの影響とのことで、はんばた市場への助成として1000万円の補正を組んだが、コロナの収束は皆目見当がつかない。収束しない限り助成をするのか。

町長 今後コロナの影響が、社会状況の変化によりどうなるか分からないので、ここでは回答できません。ただ、状況次第では、可能性はあると思います。

質問 近隣の類似施設に視察に行ってきたが、近隣の施設では、落ち込み幅は小さく、赤字になっていない状況なので、コロナの影響とは言えないと思うが、町長

は、それでもコロナが要因と考えているのか。

町長 町内の観光施設でも、大きな落ち込みとなっているので、コロナの影響と考えています。

質問 私は、元々地産地消の名目の施設のため、観光施設とは考えていない。地元消費者が魅力を感じない限り、観光客の誘客は図れないため、もっと地元消費者が魅力を感じられる施設にすべきと考えるが。

町長 町内の人たちだけ来ていただければいい経営体系ではないことを、ご理解していただきたい。



地産地消の拠点を目指す「はんばた市場」

重機レンタル会社誘致は

今後も協議していく

質問 町内の建設業等は、自社所有の重機類は、レンタルが多くなっている。このような状況は、災害復興の際、支障をきたすため、レンタル会社の誘致が必須だと思うが。

町長 来ていただけることは、非常にありがたいです。これまでも交渉をしておりますが、中々進まない状況ですが、今後も協議していきます。



つみ
堤

ゆたか
豊 議員

サンセットコイン10%還元は (町長) 好評なので、令和4年度も実施

質問 令和3年度では、サンセットコイン10%還元キャンペーンなど、緊急事態宣言で疲弊した町内事業者に、町内の生活支援を行った。

令和4年も、再度支援実施の町民の声があるが、検討はできないか。

町長 10%還元は、店舗のみならず、町民の皆様からも大変好評でした。令和4年度も行うことで、予算計上しています。

質問 令和2年からの2年間で、西伊豆町内で営業休止した企業や廃業、倒産した会社がどのくらいあったのか把握しているのか。

町長 商工会にも確認しましたが、新型コロナの影響により、廃業、倒産した企業はありません。国県町の支援金制度などに関する問い合わせは、町にはありました。

はんばた市場の赤字脱却は

収入が伸びていない

質問 はんばた市場は、赤字

脱却することを目標と考えるが、立て直し策はあるか。

町長 指定管理者にも、対策を検討していただきましたが、コロナ対策の影響で思うように、収入が伸びていない現状です。

質問 地元野菜などが時々不足しているとのことだが、販売の対応策はあるのか。

町長 町内の農業に従事されている方は少ないので、農作物の集荷には、苦勞しています。地域おこし協力隊も含め、新たな出荷者への発掘を考えています。

質問 人件費を減らす具体策

は、あるのか。

町長 人件費に限らず経費の削減を考えています。

堂ヶ島の歌碑の工夫は

自然公園法などの規制あり

質問 歌碑は色あせており、遠くから目につくように工夫したらと思うが、町は対応できないか。

町長 公園は自然公園法及び文化財保護法が、文学碑、彫刻美術品など自然の素材を使用することが規定されているので、対応は簡単ではないです。



与謝野晶子夫妻の歌碑を観光資源に

農地の下限面積は

(町長) 農業委員会で議論を



まつだ たかひろ 議員
松田貴宏

質問 農地の売買、贈与、貸借等の下限面積について、別段の面積を設定する必要があると思うが。

町長 ぜひ、農業委員会で議論いただければと考えます。

ツキノワグマの県の回答は

機材の購入は予定していない

質問 ツキノワグマが再び捕獲されたときは、放獣の際にGPSをつけて個体の位置が把握できるように県に依頼しているとのことだったが、県からの回答は。

町長 機材の購入は予定していないとの回答でした。理由としては、機材購入に130万円ほどかかることや、受信範囲が4キロから5キロで実用的ではないためです。

質問 県はなんでクマが出たからってそんな騒いでいるんだろうと、あまり危機感が共有されていない部分があるのではと思うが。

町長 危機感がないのではということ、私たちも感じ

ています。県はクマが出没するというのは、豊かな森があるのでクマが出るんですよと言います。私たちは出たら困るわけで、その温度差を実感しています。町は対策を打って、経過観察をし、県には引き続きお願いしていきたいと考えます。

職員の採用計画は 組織の活性化と年齢の バランスを考慮

質問 職員の採用計画については、65歳定年になった場合はどのような考えを持っているのか。

町長 組織の活性化と、年齢構成のバランスを考慮し、一時的に職員が増えますが、新規採用者数を二、三年で平準化し、早期退職者制度の活用を検討しながら定員管理を行います。

質問 自治大学校や市町村アカデミーを活用した研修は。

町長 これまでは受講希望者を募っていませんでしたが、大変有意義だと聞いています。全額市町村振興協会の助成となるため、職員研修委員会で検討したいと考えます。



下限面積の引き上げにより小さな農地も活用しやすく



つみ 堤 かず お 和 夫 議員

先川ボーリング調査の住民説明会は (町長) 3月中旬ごろ

質問 先般、先川ボーリング調査案件は、議会で議決されたが、ボーリング調査を行う上で、地域住民への説明会は、どのように行われたのか。

町長 地権者には、事前にボーリング調査の日程などを説明し、了解を得ております。中区長と相談し、中区の皆様を対象に、3月中旬ごろに、説明会を開催する予定です。

教育委員会事務局長 中区全世帯を対象に、案内を送らせていただいております。

質問 小中一貫校が建つ周りの土地所有者は、全て中区の方ではない。調べて案内状を送るべきでは。

教育委員会事務局長 この説明会が終わった後に、そちらの方にも、お願いしていきたいと考えています。

質問 町長は、区長会との懇談会で、「ボーリング調査で建設に適さない場合は、旧西伊豆中学校跡地に建設する」と発言されたそうだが、

それならば、初めから旧西伊豆中学校跡地に建設したらどうか。

町長 懇談会の発言に関しては、旧西伊豆中学校跡地に建設するとは、申ししておりません。可能性はあると申し上げているかと思えます。

消防団員定数の改正は 考えていません

質問 町消防団の定数は、法定数と乖離かいりしているが、団員定数の改正はあるのか。

また、県が制定している消防団応援条例で協力している

事業所は当町にあるのか。

町長 定数改正は考えていません。協力事業所は6事業所が登録しています。

避難タワーの地区説明会は 行っていません

質問 沢田・宇久須地区の津波避難タワー建設予定地のボーリング調査と地区説明会は、どのように行われたのか。

町長 地区説明会は行っていませんが、近隣住民には、土地所有者との協議が済んだ後に、行っています。



旧西伊豆中学校跡地に建設する可能性は？

災害時における要配慮者への避難支援は

(町長) 風水害への対応協議は定期的開催



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

質問 災害時における福祉施設及び在宅の要配慮者への避難支援対策は。

町長 各施設には防災マニュアル、事業継続化計画の策定が義務付けられています。また、要配慮者に係る台風など風水害への対応協議会を定期的に行っています。

質問 地震津波への対策は。

町長 津波浸水想定区域内での安全の担保は難しい問題ですが、今後は協議検討する必要があると考えます。

質問 防災訓練への参加を促すなど、地域で共有することから始めては。

町長 ご近所の助けはあるのではないかと考えますが、まずはご自身で身の安全を確保していただきたいです。

ミックスペーパーの回収日は

地区で管理可能であれば

質問 限りある資源を大切に利用することは重要だ。ミックスペーパーの回収が始まったが、収集日を設け

ることはできないか。

町長 現在分別が進み、ごみの減量化と焼却処理施設の延命化につながっています。ただ、分別ルールが厳しくなると住民の負担が増えます。ミックスペーパーの収集については、地区で管理可能であれば対応します。

CO₂ 排出削減は

大型事業者から

質問 CO₂排出削減のために町が取り組んでいることは。

町長 生ごみのリサイクルについて大型事業者から実施

可能か検討してまいります。

環境課長 数年後のごみ処理広域化後には、リサイクル品目増と大型ごみ処理機助成を検討しています。

質問 カーボンニュートラルに向けての取り組みは。

町長 ごみを燃やす処分から分解する処分へシフトさせ、循環型の資源利用を目指します。

まちづくり課長 地域再エネ導入戦略策定業務の中で、温室効果ガスの排出量を推計し町の将来ビジョンを作成します。



ゴミの再資源化は



ます やま いはむ
増山 勇 議員

1市3町の協議は

(町長) 場所が決まらず進んでいない

質問 広域ごみ処理の問題を改めて質問する。

単独事業での今後の改修を25億円としている根拠は。

町長 25年経過している施設の平均を調べて、西伊豆町は、流動床方式であり類似の施設の大規模改修は、24億5000万円と伺っています。町としては、まだ大規模改修の計画を立てていませんので正確な数値はできませんが、およそ25億円がかかるのではと考えています。

質問 広域ごみ処理で、「サービスの低下は、ある」と答弁していたが、どのようなことか。

町長 施設への持込みごみは不便になると考えます。

現在、住民や事業者の方々から持込みごみの可燃ごみ、資源ごみをどうするかという課題があり、中間処理施設を設置するかどうか、整備する場合には、どれほどの規模の処理施設が必要なのかを検討していくことになると思います。

質問 広域ごみ処理施設での職員体制はどうかと考えているのか。

町長 今のところ、正規作業員4名、任用職員1名の5名が必要ではないかと考えます。中間施設が整備されれば、事務員の1名が必要ではないかと考えています。

質問 1市3町の協議は、どのようになっているのか。

町長 まだ、広域ごみ処理の場所が決まっておらず、協議が進められないため報告できません。

質問 令和4年度の広域ごみ処理の負担金673万円は、

何をするのか。

環境課長 令和4年度に一部事務組合の準備室を立ち上げる費用です。

ごみの減量は

今後とも取り組みます

質問 ごみの減量に取り組み焼却のごみを少なくする取り組みを住民とともに進めていく提案をするが、どうか。

町長 今後とも取り組みます。焼却ごみを埋め立て、分別を進めている鹿児島県大崎町へ視察研修に行きたいと考えています。



広域ごみ処理は再考せよ

先川の津波浸水深を確定すべきでは (町長) 不可能だと考えています



せり ざわ たかし
芹 澤 孝 議員

質問 静岡大学の教授の話では、第4次想定津波浸水深を作成する時、先川付近より一色方面にかけては地表面を飛行機によるレーザー測量をしておらず、等高線のデータがないので、先川付近では津波浸水区域外だとされるが、浸水深約2mと考えた方が良くとの意見があった。

現在ハザードマップを作成中だが、先川地区が浸水区域外などと誤った情報を載せることは地区住民の人命に関わることで、先川集約案ではこども園を、町道レベル、プラス1mの盛り土としているが、こども園の安全確保のために、先川地区の津波浸水深を確定して盛り土の高さを決めるべきで、まずは浸水深を確定すべきではないか。

町長 国県が示された情報をもとに、全て判断をし、国県がL2の想定をした中で出しているものごさいますので、県には正確な

ものを出してくれるように、要望は致しますが、単独で見直して作り直すことは不可能だというふうに考えております。

文教施設整備の 信念と方針は

当初より変わりません

質問 文教施設整備の進め方及び信念と方針は。

町長 紆余曲折ありましたが多くの意見を聞き、1人でも多くの方が納得できるように進めています。

信念と方針は当初から全く変わらず、町内の子供た

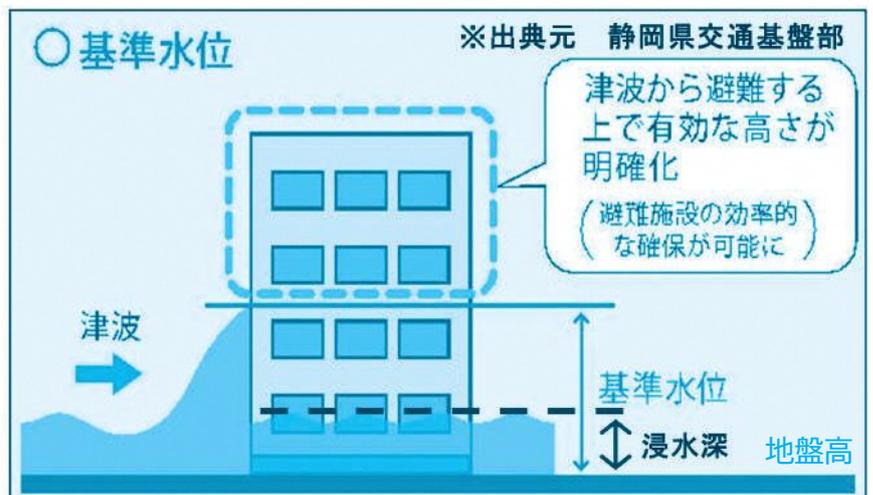
ちを安全な場所で教育、保育するというものです。

旧西伊豆中の解体は棚上げすべきではなかったか

第2案を想定して解体しました

質問 小中一貫校の建設地が先川に変わった時点で旧西伊豆中の解体を棚上げすべきではなかったか。

町長 先川のボーリング調査結果では立たない可能性もあるので、第2案を想定した時、旧西伊豆中の建物があるのは、建設に不備になり、困りますので解体しました。



町の基準水位（津波のせり上がる高さ）を公表すべき！

議会の動き

第1常任委員会報告

教育委員会事務局

2月8日に、教育委員会事務局の所管事務調査を行いました。

統合後の西伊豆中学校

中学校の視察を、コロナにより中止したため、学校からの報告を一部抜粋し掲載しました。

統合により、各学年20人前後の2学級となり、10人前後の少人数学級、30人前後の単学級に比べ、適切な人数の中で落ちついた雰囲気の中で授業ができています。

8割以上の生徒がバス通学で、教育活動がバス時刻で制限されることがあるが、バス通学に慣れてきたようである。

友人関係で悩んでいる生徒は多くトラブルが起きることもあるが、その都度担任や学年で話を聞いて対応している。

不登校や特別室登校、学習面で支援が必要な生徒に対して、一人一人の状況に応じた個別の対応を取っているが、空き教室がなく対応する場所の不足や人員の不足も課題となっている。

奨学金制度

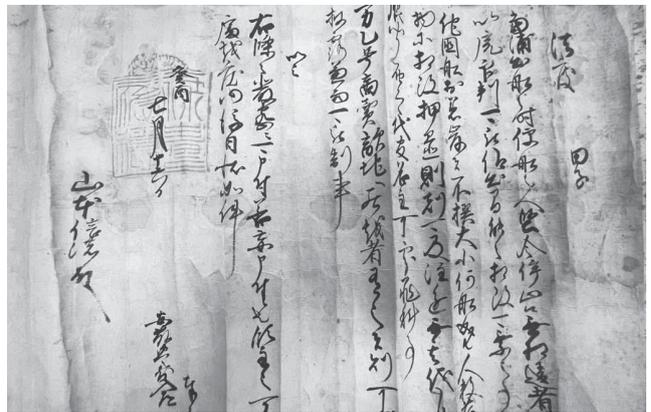
現在町では3の奨学金制度を運営しています。

- ・償還型 百川奨学会・稲葉金秋奨学金貸付基金
高校生月額1万円、大学生月額2万円
利用者実績 百川88人 稲葉金秋2人
- ・給付型 西伊豆町給付型奨学金
松崎高校生、月額 1年生1万円、2年生1万5千円、3年生2万円、現在の利用者12人
近年は償還型の利用者がいない状態が続いてます。
詳細は町のホームページを閲覧するか、教育委員会事務局に問い合わせして確認してください。

西伊豆町文化財

町には、堂ヶ島天窓洞から猿っこ踊りまで、国・県・西伊豆町、指定の文化財34、登録文化財（町文化財登録原簿に登録）5があります。

写真は町最古の古文書である「北条氏虎印の法度状^{はつとじょう}」で、1573年、付近の海岸に出入りする船の取り締まりの定めについて書かれたものです。



無形民俗文化財の中には後継者不足による活動中止の声が上がっているものもあります。継続は地域の枠を超えて協力していくのも一方策でないかと思います。

学校給食

令和4年度より小中学校生徒に給食費の半額を補助します。

町は既に半額補助とは別に、予算約130万円を補助して、「ふるさと給食週間、月1回で地場産品を使った給食の日を作る。」を実施しています。生徒に地場産品を使ったメニューによる食育によって地域の文化・産業の理解を深める事業をおこなっています。

地場産品を使うことで地元業者の支援にも繋がっています。

第1常任委員長 芹澤 孝

第 2 常 任 委 員 会 報 告

1月26日に、防災課と産業建設課の所管事務調査を行いました。

防災課

防災ハザードマップについて

- *事業名 : 西伊豆町土砂災害・洪水ハザードマップ作成業務委託
- *委託料 : 9,790,000円 (1/2が国庫補助)
- *受注者 : (株)ゼンリン東海
- *内 容 : ①ハザードマップ 6,000部
(各戸配布+窓口等で配布)
②大判地図A0判ハザードマップ 100部 (自主防・学校等に配布)
③防災情報記載住宅地図 70冊 (自主防・学校等に配布)
④ホームページ用掲載データ

防災倉庫(旧洋ランセンター)視察



津波避難タワー建設用地視察

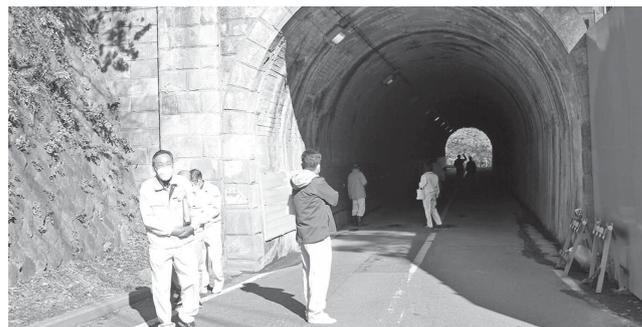


沢田地区

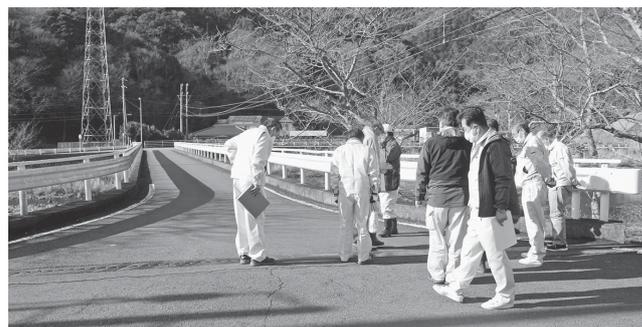
産業建設課

令和4年度施工予定の工事個所視察

- ① 宇久須^{ずいどう}隧道補修工事 (1億3,500万円)



- ② 岩谷戸橋長寿命化対策工事 (6,600万円)



- ③ 林道一色線法面改良工事 (900万円)



防災課では、防災ハザードマップの説明を受け防災倉庫(旧洋ランセンター)と津波避難タワー建設用地を見学しました。

産業建設課では、令和4年度施工予定の工事個所を見学して回りました。大変有意義な一日となりました。

第2常任委員長 堤 和夫

文化財シリーズ

西伊豆町の全域の文化財を紹介していきます。(4回目)

民族文化財 田子「正月魚」しょうがつよ



寒風にさらし乾燥させている塩鯉

田子地区では、航海安全と豊漁豊作・子孫繁栄を祈願し、塩鯉にワラ飾りを付け正月に神棚にお供えをする風習があり、その際に塩鯉は、「正月魚（しょうがつよ）」という名前で呼ばれています。三が日を過ぎると神棚から降ろし、関係者に振る舞われたり、保存食として家庭で消費されています。

田子地区の船員への雇用の証しとして、年の初めに契約の品に使われたりもしており、昔から身近な食べ物として、親しまれてきました。現在製造されているのは、全国で西伊豆町田子地区のみとなっています。
※出典元 西伊豆町文化財総覧

町内探訪 41

地元出身の女性ダイビングインストラクター



吉田さゆりさん
(田子在住)

田子地区のダイビングショップでインストラクターをしている吉田さゆりさんに話を伺いました。

質問 ダイビングのインストラクターになったきっかけは。



フト根のサクラダイの群れ

吉田さん 大学進学のために一度地元を離れましたが、父親が経営するダイビングショップに後継ぎがないことや、海に関わる仕事に興味があったので、24歳の時に家業のインストラクターとして働くことにしました。

質問 田子の海の特徴は。

吉田さん 田子には湾内にダイビングスポットがあり、冬場の波がある時でもダイビングが楽しめます。また、沖合に

は「フト根」という伊豆の中でも屈指の魚群ポイントがあり、日本の固有種である「サクラダイ」を見ることができ、多くのダイバーが訪れます。

質問 最近の海の変化は。

吉田さん 子供の頃から素潜りで田子の海を潜っていますが、温暖化の影響なのか明らかに20年前と比べてシフメやミチメ、天草等の海藻が減っています。田子瀬浜海岸のマメダワラも見られなくなりました。

質問 今後の目標は。

吉田さん ダイビングを通じて、西伊豆の素晴らしさを発信していくことで、微力ですが町の活性化の手助けができればと考えています。

【取材 堤 豊、松田貴宏】

令和4年4月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。TEL: 52-1962